

平成 29 年 4 月 17 日

各 位

会社名 株式会社 新生銀行
代表者名 代表取締役社長 工藤 英之
(コード番号 : 8303 東証第一部)

山形県酒田市におけるメガソーラー事業向けプロジェクトファイナンスの組成について

当行は、ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社(東京都港区、代表取締役社長 竹内 一弘、以下、「JRE」)および株式会社酒田港リサイクル産業センター(山形県酒田市、代表取締役 林 浩一郎、以下、「酒田港リサイクル産業センター」)が共同スポンサーとなって出資する酒田港メガソーラーパーク合同会社が山形県酒田市に建設し、運営する、発電容量約 28.5 メガワットの大規模太陽光発電所(以下、「メガソーラー」)に対するプロジェクトファイナンスを組成し、係る融資関連契約を平成 29 年 3 月 3 日に締結いたしました。

本事業では、新たに設立した酒田港メガソーラーパーク合同会社を事業主体として、酒田港リサイクル産業センターから、同社が平成 25 年 9 月から運営している本件太陽光発電所を取得し、約 28.5 メガワットまで増設した上で、平成 30 年 4 月に増設部分の運転を開始する予定です。このプロジェクトファイナンスは当行がシンジケートローンとしてアレンジし、増設工事などにかかる費用のうち総額約 74 億円を融資するもので、シンジケートローンには、株式会社きらやか銀行(山形県山形市、頭取 栗野 学)、株式会社荘内銀行(山形県鶴岡市、頭取 上野 雅史)、株式会社山形銀行(山形県山形市、頭取 長谷川 吉茂)の 3 行が参加しております。(五十音順)

当行では、再生可能エネルギー事業を含むプロジェクトファイナンスを第三次中期経営計画における成長分野の一つと定め、当行の持つ高度なリスク分析力やストラクチャリング能力などの専門性を活かし、国内外での広範な案件組成を目指しております。国内の再生可能エネルギー事業については、設備認定量は固定買取価格制度導入後数年の間に急激に増加したものの、導入量は今後の増加の余地が大きい状況です。本件のように地域金融機関などと協調して取り組む案件は、地域振興およびエネルギーの地産地消の推進にもつながることから、当行は今後も幅広い事業者のファイナンスニーズにお応えすることで、日本の再生可能エネルギーの安定的な成長を支援してまいります。

【プロジェクトの概要】

事業名称： 山形県酒田市メガソーラー事業
発電容量： 約 28.5 メガワット
事業主体： 酒田港メガソーラーパーク合同会社
スポンサー： ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社、株式会社酒田港リサイクル産業センター

【ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社の概要】

名称： ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社
代表者： 代表取締役社長 竹内 一弘
設立： 平成 24 年 8 月 20 日
所在地： 東京都港区六本木 6 丁目 2 番 31 号六本木ヒルズノースタワー

【株式会社酒田港リサイクル産業センターの概要】

名称： 株式会社酒田港リサイクル産業センター
代表者： 代表取締役 林 浩一郎
設立： 平成 18 年 7 月 14 日
所在地： 山形県酒田市宮海字南浜 1 番地 104

【融資概要】

借 入 人： 酒田港メガソーラーパーク合同会社
契 約 金 額： 総額 約 74 億円
契 約 締 結 日： 平成 29 年 3 月 3 日
ア レ ン ジ ャ ー： 株式会社新生銀行
貸 付 人（五 十 音 順）： 株式会社きらやか銀行、株式会社荘内銀行、株式会社新生銀行、
株式会社山形銀行

以 上